



令和6年 年頭の挨拶

年頭挨拶

学びと実践で 難しい時代を乗り越える

全日本一般缶工業団体連合会 会長
西日本一般缶工業協同組合 理事長

清水 雄一郎



はじめに元旦におきました能登半島地震で被害に遭われた皆様に対しお見舞い申し上げますとともに、彼の地の皆様が心穏やかな日々を一日でも早く取り戻せることを心よりお祈り申し上げます。

あらためまして、明けましておめでとうございます。連合会会員並びに賛助会員、関係各社の皆様、昨年は当連合会の活動にご協力いただき誠にありがとうございます。また、皆様方におかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

2023年はコロナ禍が収まり、人や経済が一気に動き出したことで急激に景気が回復した業界もあれば、人の思考や行動が変わり今までのような恩恵を受けられなくなった業界もあったりして、環境変化への対応に振り回された一年であったように思います。それと同時に物価やさまざまな物

資の高騰など、企業活動を圧迫する要素も多く、いまだ舵取りの難しい時間が続いているように感じます。

しかしながら、海外からの旅行者の増加、観光地の人流の回復などもあり、確実に国内経済は回復基調にあるとも言えます。そのような状況の中で活躍する企業は、やはり時流に合った新しいモノゴトを提供しているようです。時流を掴むには学び続けることが必要です。学んだことを時代に即したモノやサービスに落とし込み提供する行動力が必要となります。先を見通すのが難しい時代ですが、「学ぶ力」と「行動力」を発揮することで未来を切り拓く新たな道も見えてくるのではないのでしょうか。そして、このような混沌とした時代に、我々は何のためにモノやサービスを提供し続けるのかといえば、やはりお客さまや縁ある人たちの役に立ち喜んでもらうためだと思うのです。商売の原点に立ち返り、相手の役に立ち喜んでもらうために学びと実践を止めない。そういうことがとても重要な局面だと私は思います。連合会に関わる皆様に実践のヒントとなる学びの場を提供しつつ、共に成長できる一年になることを祈念。約束して新年のご挨拶いたします。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。



年頭所感

GX、DX等の政策軸で 投資活発化を促し成長と 所得向上で好循環の一年に

経済産業省製造産業局 金属課長

松野 大輔



(はじめに)

令和6年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。昨年は、長いコロナ禍が収束に向かい、社会・経済に活気が戻ってきた一方で、我が国を取り巻く地政学リスクの厳しさが一段と増した年になりました。

日本経済はこれまでのコストカット型のデフレ経済から、持続的な賃上げや活発な投資でけん引する成長型経済への転換局面を迎えています。本年は、こうした成長軌道への変化を一過性のものにならないためにも、GX、経済安全保障、DXを3つの政策軸として更なる投資の活発化を促し、さらに価格転嫁も進めながらも一段の賃上げを実現することで、成長と所得向上の好循環を進める一年にしたいと思います。

(GX)

脱炭素の世界的な潮流は想像を超えて速く、官も民も一歩前に出た取組が求められ

ています。

我が国は、エネルギー安定供給、産業競争力強化、排出削減の実現に向けて、投資促進策と規制・制度の両輪で様々な施策を進めています。GXの実現には、投資促進策だけでなく、規制・制度による取組も重要です。カーボンプライシングにより炭素排出に価格を付け、GX関連製品・事業の付加価値を向上させる取組を進めます。

こうした施策に基づき、国内にGX市場を確立し、GX実現に向けた取組を政府としても後押ししてまいります。

(DX)

GXの課題に対応する上で、企業の競争力の基盤という意味でも、デジタル化への対応は不可避です。デジタルによる既存のビジネスモデルの変革や、生成AIの登場による付加価値の源泉の変化など、DXによる産業構造の変化を捉え、先を見据えて手を打っていくことが求められています。

我が国製造業の競争力強化に向けて、スマートマニユファクチャリングのガイドラインの策定や足元の人手不足に悩む中小企業等には、ロボット導入などの省力化支援等、DX投資も推し進めてまいります。

皆様にこうした施策を積極的に御活用いただき、企業の競争力強化に繋げて頂くことを期待しています。

(価格転嫁・物流問題)

また、投資の促進に加え、もう一段の賃上げを実現するためには、適切な価格転嫁が重要です。本年は、継続的な賃上げの力ギとなる労務費についても価格転嫁が適切

に行われるよう、業界のみならずと連携しつつ取組を一層進めてまいります。
(おわりに)

国内外で活躍されている皆様との日々の対話を通じ、将来につながる日本の経済基盤を共に形作っていきたくと考えております。最後に、一般缶業界の益々の御発展と、本年が素晴らしい年となることを祈念し、年頭の御挨拶とさせていただきます。

年頭挨拶 組合員同士と 関係業界の協力を得て 課題に取り組み

東日本一般缶工業協同組合 理事長

最上 裕光



あけましておめでとうございます。本年も宜しくお願いいたします。

元日から能登半島地震が起き、亡くなられた方、被害に遭われた方が多く出ました。心からの哀悼の意を表します。また被害に遭われた方々に対し、一日も早くいつもの生活に戻られること祈念いたします。平和な日々は当たり前でないということを感じたお正月でした。

さて、昨年5月にコロナが5類に移行し、

ようやく旅行、食事や買い物をする機会が増え、また海外からの旅行客も一気に増えて街もにぎやかを取り戻してまいりました。百貨店などでは、富裕層を中心に高額商品も好調とのことです。一方、国内全般を見渡しますと、一般消費が低調で、インフレに賃金が追い付いていない状況も見聞いたします。

私たちの一般缶業界を見渡しますと、テレビやネットなどを通じて菓子缶ブームが起き、主に個人ギフト向けにデパ地下、主要都市の駅ナカなどで菓子缶の消費が好調となりました。一方、工業缶の需要はコロナの反動などもあり、塗料・化学などを中心にいまひとつ振るわぬ状況が続いています。

そのような中、これからの一般缶業界を考えると必要なことは、菓子缶であれば工業缶であれ「魅力ある金属容器、付加価値のある容器をお届けし続ける」ことだと思います。そのためにかかせないのは第一に人材であり、採用難ではありますが採用・育成に力を注ぎ、賃金も物価高に合わせる上げていかなければなりません。また設備の自動化(ロボット)・省人化の推進、新たな市場創造、小ロット(個別化)対応、また縮小する国内マーケット対応として海外戦略も必要になると考えます。どれも簡単なことではなく、一度にすべてのことはできませんが、組合員同士が協力し合い、業界関係者・他業界の皆様との協力を得ながら一つずつ課題に取り組み、活動をしてまいりたいと思います。事務局も「組合員の応援係」として活動を支えてまいります。

令和6年が皆様方にとりまして、よき一年になることを心から祈念してご挨拶とさせていただきます。

年頭挨拶 品質管理体制を整え 相互扶助で 業界発展につなげる年に

中部製罐工業協同組合 理事長

安藤 宏行



あけましておめでとうございます。本年もよろしくお申し込み申し上げます。

組合員の皆様におかれましては、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

元日に発生した能登半島地震で被害に遭われ亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、行方不明者のご無事を祈念申し上げます。

平素は中部製罐工業協同組合の事業運営に対し、格別のご理解とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルスに対する行動制限が緩和され、徐々に国内の経済活動が再開し、食品などの消費の回復を期待しましたが、値上げの影響によるコスト対策

のため消費を減少する動きが強まりました。

インバウンドについては、徐々にコロナ禍前近くまで回復してきましたが、ドル高やユーロ高により、欧米からの訪日者が多く、買い物消費から旅行体験型消費へと変わってきました。

アジアよりの訪日外客数は、コロナ禍前にトップであった中国の回復が遅れており、中国以外からの訪日へと変わってきました。

コロナ禍で衰退した外食、宿泊業は、労働力の確保が難しく、省人化対応が課題となっており、労働者人口の減少および高齢化は、私たち製造業でも深刻な人手不足となってきました。

中小企業では物価高騰に対応した賃上げが追いついていないため、IT化の推進などの設備投資による、製造現場から在庫管理までの総合的な作業効率向上が求められています。また、2024年問題は、配送作業から運行管理まで、総合的に改善する社会的課題となっています。

徐々に社会経済活動にも活気が戻ってきましたが、中小企業においては、コロナ禍による様々な影響に加え、円安やウクライナ情勢を背景とした原材料の高騰、労働者不足、デジタル化、賃上げなど多くの課題に直面しております。

当業界においても、過去に例のない度重なる鋼材等の値上げがあり、価格転嫁にご苦労されたことと推察いたします。今年もインフレ傾向が続くといわれています。異素材容器との競争、また競合他社がある厳しい状況ですが、是非、値上げ分の価格

転嫁を進めていただき、事業を継続されまこと祈念申し上げます。

改めて缶容器の価値を問われるものとして、私たちは、製品の品質等、ブランド力をしっかりと顧客に認めてもらわなければなりません。身の丈ではありませんが、品質管理体制をしっかりと整え、足りない部分は互いで助け合い、業界の発展につなげていける年としまいにあります。

本年が皆様にとりまして、ご健勝で一層のご活躍の年となりますよう祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

年頭挨拶
創造性・情熱を抱き
勇気と自信で
成長する年に

全日本金属印刷工業協同組合連合会 会長

中田 正和



2024年の新春を迎え、謹んでお慶び申しあげます。

皆様方にはご健勝にて新年を迎えられたことと存じます。

本年がどのような年になっていくかを予想する上でも今一度昨年を振り返り総括してみたいと思います。

身近なところでは3年前から猛威を振る

い我々の生活に様々な影響を与えていたコロナウイルスが昨年5月に第5類に認定されたことが大きいと言えます。5類に認定された後、街中にどんどん人流が増加し、元の生活に戻ってきた感があります。その結果、昨年は日本経済にとって前向きな変化が多く見られた1年となりました。経済の正常化が大幅に進み、賃上げや価格転嫁が加速しました。ただし、物価高に賃上げが追いついておらず、実質賃金は前年比マイナスとなつてしまいました。また、中東情勢やウクライナ情勢が緊迫する中、エネルギー価格（石油等）がさらに押し上げられました。これはエネルギーを多く使う我々金属印刷業界にとりましては大幅なコストアップになってしまいました。

こうした変化の中、2024年度も景気は緩やかな回復が続き、実質GDP成長率は前年比1.0%のプラス成長との予測が出ております。ただし、物価高によるマイナスの影響が当面の懸念材料となりそうです。加えて人手不足や人件費の高騰等が企業にとつては業績に大きな影響を与えるものと思われまます。一方、明るい材料としては外国人観光客は昨年11月に過去最高を記録し今年さらには増加する予測となつており、いっそうのインバウンド消費が期待できます。また、菓子業界では缶の美観や高級感が見直され、缶を採用する菓子メーカーが増えてきているというような需要増加要因も見られます。

経済とは異なりますが、我々が忘れては

ならない問題として環境問題があります。

昨年の7月・8月・9月・10月はこれまでにない記録的な暑さになりました。世界気象機関によれば昨年の7月4日は過去12万5000年間で最も暑い1日だったということです。この気温の上昇は北極圏の水の融解、カナダの壊滅的な森林火災等、世界中に災害をもたらしました。CO2排出量の削減は現代に生きる我々が取り組むべき課題だと痛感します。そうした中で私たちが望むスピードではないものの化石燃料から再生可能エネルギーへの移行は着実に進行しています。これからの成長成果に期待したいところです。

今年の干支は辰（竜・龍）です。龍は十二支の中で唯一空想上の生き物です。辰年は陽の気が動いて、万物が活力旺盛になり大きく成長する年だともいわれています。創造性と情熱を抱きつつ勇気と自信を持って夢を追い求める年だそうです。本年のこの機運を活かしつつ皆様のご活躍と躍進、並びにご健勝を祈念いたしまして年頭の挨拶とさせていただきます。

年頭挨拶
禍も福も表裏一体
できる事を地に足つけて
果たしていきたい

東京都鍼灸地金商業協同組合 理事長

松苗 昭文

あけましておめでとうございます。全日本一般缶工業団体連合会様には長き



にわたり、ひとかたならぬご愛顧、ご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。本年も変わらぬお付き合いの程、宜しくお願ひ申し上げます。また、新年元旦の能登半島地震により、亡くなられた方々、被災された皆様には謹んでお悔やみ、お見舞い申し上げます。

さて、昨年の世界を振り返って見ますと、10月に中東においてハマスがイスラエルを奇襲し戦闘が再発、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻は2年目に突入り長期戦の様相となっており、まさに地政学的なリスクの拡大が引き続き懸念されました。

一方、新型コロナウイルス感染症は5月には国連保険機関(WHO)により公衆衛生上の緊急事態は解除されました。日本においても同5月に感染法上の位置づけが2類から5類に引き下げられ、コロナ対策としての特別措置法の適用から外れる事となりました。

これによりかつての日常へと戻る事となり、各地の観光地がインバウンドで賑わう光景も戻ってきました。この3年余りの間に日本を覆ったコロナ禍はリモートワークの普及など、社会活動に大きな変化をもたらす事となりました。

一方、嬉しいニュースでは、3月にはWBCで待ジャパンが14年ぶりに世界一を奪還、まさに絵に描いたようなドラマティックな展開で感動をもたらしてくれました。サッカーの森安ジャパンは本年元日のタイ戦含め国際Aマッチ9連勝で今後の期待が膨らみます。阪神タイガースの18年ぶりの優勝、38年ぶりの日本一も見事でした。藤井聡太さんの前人未踏の8大タイトルの全冠制覇も大いなる偉業となりました。嬉しいニュースの数々に心から感謝したいと思います。

さて、今年はどうなるのでしょうか？私には未だ想像できませんが、元日の大地震、翌日の飛行機衝突、そして商店街火事等々、新年早々痛ましいニュースが飛び込んできております。自然災害は避けて通れない日本だからこそとの覚悟は持たないといけないと改めて思い知らされました。ただ、昔から「禍福は糾(あざな)える繩の如し」とのことわざにもありますように、禍も福も表裏一体と考え、微力ながら私どもができます事を地に足を付けしっかりとそれを踏みしめながら果たしてまいりたいと思えます。

本年も一般缶業界の皆様にとりまして新しい活気溢れる明るい年になりますよう祈念致しまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



新年会を4年ぶりに開催

清水会長

「我々の在り方を見つめ直し 行動を変え頑張る」

全日本一般缶工業団体連合会は令和6年1月19日、東京・千代田区大手町のLEVELEX I 東京會館で4年ぶりの新年会を開催した。所属員会社、特別会員、特別賛助会員、一般賛助会員、協力会員、賛助会員、協賛会員など157人が参集し、渋谷剛志運営委員の司会で進行的した。



主催者挨拶 清水会長

挨拶に立った清水雄一郎会長は冒頭、能登半島地震に見舞われた方々にお悔やみとお見舞いの言葉を述べたあと「今まで以上に先が見通しづらい時代に入り、これまで通用していたことが通用しなくなってきたので、誰のためにもどう仕事をすべきかを考えていくことが重要である。昨日と同じことをしていても明日の結果は変わらない。我々の在り方をも一度見つめ直して行動を変えていくこ

全日本一般缶工業団体連合会

とが必要であり、自分たちで一般缶業界を良くしていくという気持ちで頑張っていきたい」と新年の抱負を語った。



来賓挨拶 川村金属技術室長

続いて来賓を代表し、経済産業省製造産業局金属課の川村伸弥金属技術室長が「日本経済に目を転じると、長年続いたデフレ構造から新しい経済システムへと移っていく、まさに千載一遇のチャンスにあると言われている。例えば30年ぶりに高い水準で賃上げがなされたりして色んな潮目の変化が起きている。今年も引き続き景気を向上させることが必要である。そのため政府も昨年末に各種の経済対策を講じているので、相談事も是非当局に問い合わせていただきたい。賃上げなど労務費に関しては価格転嫁が大きな課題だが、原材料価格の上昇に対する価格転嫁は一定程度進んでいるかと承知して

西日本組合山本監事が 大阪府中央会会長賞を受賞

令和5年9月14日、西日本一般缶工業協同組合の山本浩之監事が多年組合の発展に尽力され功績により大阪府中小企業団体中央会会長賞を受賞した。

中部組合 石川副理事長、池田理事が 愛知県中央会会長賞を受賞

令和5年10月26日、愛知県名古屋市中村区の名古屋マリオットアソシアホテルで開催された愛知県中小企業団体中央会の第72回中小企業団体愛知県大会において、中部製罐工業協同組合の石川博章副理事長及び池田祥三理事が多年組合の向上発展に寄与した功績により、同中央会会長賞を受賞した。

新春互礼懇親会を開催

西日本一般缶工業協同組合は令和6年1月9日、大阪市梅田のホテルグランヴィア大阪で新春の組合互礼懇親会を開催し、組合会社など12人が出席した。

清水雄一郎理事長は冒頭、元日に起きた能登半島地震の災害に見舞われた方々に対するお見舞いの言葉と早く穏やかな普通の生活に戻れることを願う旨を述べてから、「2023年もあっという間に過ぎ、コロナもようやく収まり、人と経済も動き出したが、人の趣向と行動も変わり、今まであった仕事が多くなったり、急激に仕事量が増えたりもした。コストアップの圧迫がありながら、これを解決していく中で振り回された1年であった。2024年も前年を乗り越えていくために、“学び”が必要であり、今の時代の流れをサービス・ものづくりに活かしていくことで“学んで”いきたい。また、今年は“いい年になる”のではなく“いい年にする”という事で、皆様とともに今年1年駆け抜けていきたい」と挨拶した。



新春懇親会の会場風景

次いで小西康晴副理事長の先導で乾杯し、懇親に移った。最後に渋谷剛志副理事長が閉会の挨拶を行い盛会裡に散会した。

次いで小西康晴副理事長の先導で乾杯し、懇親に移った。最後に渋谷剛志副理事長が閉会の挨拶を行い盛会裡に散会した。

次いで鉄鋼メーカーを代表して日本製鉄(株)薄板事業部ブリキ・電磁鋼板営業部の岸川洋一郎ブリキ国内室長が「4年ぶりに皆様と直接、顔を合わせて新年を迎えられることは大変有り難いことだと思ふ。このところ自動車を始めとする製造業の生産活動も回復しつつある。加えて関連事業の拡大が期待されており、経済にはプラス要素がある。昨年、TBSテレビの番組「マツコの知らない世界」で二度にわたって菓子缶の特集があった。



日本製鉄(株)
岸川ブリキ国内室長

いる。ただ労務費の価格転嫁は難しい状況かと思っている。昨年の11月に公正取引委員会が労務費の適切な転嫁のための価格交渉に関する指針を策定し、色々な取組が大事であることが盛り込まれている。この指針を活用していただき発注者側と受注者側の方々が柔軟にその交渉を行っていただくことを期待したい。一般缶業界は国民生活を支える重要な産業であり、様々な可能性を秘めた産業であるので、密封性やリサイクル率の高さなど、一般缶の持つ可能性はとても大事である。是非魅力を広げていき、広まって行くことを期待する」と挨拶した。



会場風景



中締め 最上副会長

番組に登場したのが菓子缶研究家の中田プーさんでスチール缶の価値や魅力を語ってくれた。加えて日本製鉄では昨年10月にブリキのデザイン展を開催。このことが、缶のリサイクル性を含めた価値や魅力を広く知ってもらおうと掛けになったと思う」と挨拶した。歓談のあと最上裕光副会長の中締めで散会した。

4S会の会議は、令和5年10月12日兵庫県尼崎市の「ホテルヴィスキオ尼崎」において開催された。

関西地区の西部十八リットル缶工業組合、大阪金属印刷工業協同組合（幹事）、西日本一般缶工業協同組合及び西日本クラウンズ会から17名が出席した。

第1議題では、各組合の業界状況と関連諸問題について話し合われた。西日本一般缶工業協同組合の清水雄一郎理事長から「一般缶の業況は令和4年後半から売り上げが伸びてきた。鋼材値上げに関しての価格交渉がほぼ終了し、落ち着きを取り戻している。2020年からの3次にわたる鋼材値上げで収益が圧迫されていたが、直近では7～8割程度、価格転嫁できている。残りの2～3割が積み残しとなっており、今後の改善に期待している」と報告した。

第2議題では、各業界における課題、問題点について各役員から報告された。

○一般缶の需要は百貨店、テーマパーク等、人の集まるところでは菓子缶を中心にコロナ前の水準に回復している。

○原材料が高騰している中、業界として構造的な変化が求められるが、時間と投資が欠かせない状況である。

○電気・ガスといったエネルギーコストが大幅に上昇している。電気代130%、ガスは200%の上昇になっている。

○価格改定もあり売り上げは維持できているが、生産数量は10%減というところ。海外材を60%ぐらい使用していたが、円安もあり対応を検討している。印刷の最少ロット1000枚で発注しているが、キャップになる20万～30万個分となるため小ロットの印刷システムを検討してほしい。

○生産数量はマイナスだが、価格転嫁により売り上げはプラスになっている。

*各社、各業界の課題が顕在化しており、確実に課題解決していくことが重要である。また、各業界も厳しい状況の中で引き続き情報交換し、協力していくことで会議を終えた。



4S会会議風景

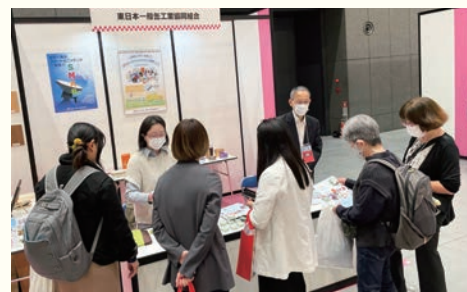
東日本一般缶工業協同組合

「組合まつりin TOKYO～技と食の祭典!～」に出展

スチール缶の高リサイクル率（2020年度94%）をアピール

来場者には一般缶リフレッツと一般缶ノベルティ「ミニ蝶番缶」を手渡し、世界屈指の高いリサイクル率（2020年度94%）を誇り、環境に優しく、循環型社会に貢献している一般缶（スチール缶）を広くアピールした。

された一般缶を展示した。2日間の来場者は1万人を超えた。初日は組合キッチンステージでお笑い芸人のおかずクラブが、初日と二日目は組合紹介ステージでお笑い芸人のダイノジが、二日目は元プロ車いすテニスプレーヤーの国枝慎吾氏がそれぞれ出演し会場を盛り立てた。また、二日目には森下正明治大学政治経済学部専任教授がモデレーターを務めたパネルディスカッション・組合座談会「事務局が提案する創造的な事業と組合運営」に野口雅春事務局長がパネリストとして参加した。



写真展示ブース風景

東日本一般缶工業協同組合は令和5年11月8日・9日に東京国際フォーラム・ホールEで開催された東京都中小企業団体中央会主催「組合まつりin TOKYO」技と食の祭典!」に出展した。出展ブースでは「世界に発信。スマー トなニッポンの一般缶」「一般缶（スチール缶）でSDGs（持続可能な開発目標）に貢献しよう」を掲げたパネルと組合員から提供



パネルディスカッションのステージ

「エコプロ2023」に共同出展 小中学生が多数訪れクイズに挑戦

全日本一般缶工業団体連合会は令和5年12月6日から8日までの3日間、東京・有明の東京ビッグサイトで開かれた「エコプロ2023」にスチール缶リサイクル協会、全国十八リットル缶工業組合連合会と共同出展した。

同連合会では会員各社から提供された一般缶及び一般缶の8つの特性と金属印刷の流れについて説明したパネルを展示した。また同連合会のDVD「人の技と夢が詰まった一般缶」の中の「一般缶と3R(スリーアール)」とスチール缶リサイクル協会のDVD「無限りサイクルの秘密」を合体させたビデオをエンドレスで上映した。

展示ブースには3日間でおよそ3千人を超える方々が来場した。

この展示会を通じて「リサイクルの優等生である一般缶(スチール缶)」の良さをアピールした。



エコプロ2023会場風景

令和5年度 情報交換会・交流会を開催

活発なグループ討議を展開



情報交換会の様子

東日本一般缶工業協同組合は令和5年8月29日、鉄二健保会館で流通・交流委員会企画による「令和5年情報交換会・交流会」を開催し、組合員ら11人が参加した。第一部は全日本一般缶工業団体連合会が令和5年7月5日に実施した「令和4年(令和5年ブリキ・印刷代等値上げに伴う価格転嫁実態調査結果)」のうち、東日本組合分をまとめた結果を筒井久流通・交流委員長が報告した。質疑応答のあと、第二部のグループ討議では、Aグループリーダーの水戸部伸寿氏、Bグループリーダーの櫻井秀行氏から討議結果が報告された。

合同部会を開催

西日本一般缶工業協同組合は令和5年11月16日、大阪・天王寺区石ヶ辻町のホテルアウイーナ大阪で合同部会を開催した。出席者は6人。

1 第46回全国流通委員会・部会協議会報告について

○事務局から全日本一般缶工業団体連合会が令和5年6月8日にメルパルク大阪で開催した全国流通委員会・部会協議会の概要を報告した。

2 「令和4年(令和5年ブリキ、印刷代等値上げに伴う価格転嫁実態調査)報告について

○事務局から全日本一般缶工業団体連合会が令和5年7月5日に実施した同調査結果の概要を報告した。調査後は、鋼材値上げの価格転嫁はほぼ終了し、落ち着いている。

3 物流の「2024年問題」への対応と情報交換について

★働き方改革関連法により2024年4月1日から「自動車運転業務における時間外労働時間の上限規制」(2024年問題)についての情報交換

○各社での個々の対応になるが、法的な問題(960時間制限)で色々な

西日本一般缶工業協同組合

手法(待機時間、コンテナへの移行等)を考えなければならぬとの意見があった。

4 合同部会の今後の在り方について

○事務局から合同部会の発足時からの変遷等を説明したのち、合同部会の①方向性②取組内容③進め方について意見交換を行った。

そのほか、技術交流会を含めた形で広く交流し、各社の課題等について話し合いを行うこと及び新たな合同部会のあり方をまとめていく。

5 その他

行事日程の連絡



合同部会参加の皆さん



東日本一般缶工業協同組合
理事長 最上 裕光
東京都台東区浅草橋五丁目一五
ハシモトビル五〇二
電話 〇三(五八〇九)三三三六
FAX 〇三(三八六四)〇九一一

金方堂松本工業株式会社
代表取締役社長 松本旭央
東京都台東区東上野一丁目二八―二
電話 〇三(三八三二)一一九一
FAX 〇三(三八三一)七一四四

株式会社ヒロハマ
代表取締役社長 廣濱庄一郎
東京都墨田区石原二丁目二八―一
電話 〇三(三六二五)一六八〇
FAX 〇三(三六二五)一六八八

奥村製罐株式会社
代表取締役 奥村清司
京都府綴喜郡井手町大字多賀
小字西松ヶ花一
電話 〇七七四(八二二)〇七七八
FAX 〇七七四(八二二)四三二四

日本製鉄株式会社
代表取締役社長 橋本英二
東京都千代田区丸の内二丁目一
電話 〇三(六八六七)五九〇九
FAX 〇三(六八六七)四九九六

西日本一般缶工業協同組合
理事長 清水雄一郎
大阪府大阪市北区天神橋
二丁目一七 千代田第一ビル
電話 〇六(六三三三)一九七三
FAX 〇六(六三三三)一九六七

工又工入金属工業株式会社
代表取締役社長 中田則彦
茨城県つくば市緑ヶ原四丁目一六
電話 〇二九(八四七)七二二〇
FAX 〇二九(八四七)六七七九

大阪製罐株式会社
代表取締役社長 清水雄一郎
大阪府東大阪市岩田町二丁目二八
電話 〇六(六七三)五五四五
FAX 〇六(六七二)三四七〇

下宮金属工業株式会社
代表取締役 下宮正裕
大阪府堺市堺区南島町三丁目一三
電話 〇七二(二二三)八一二〇
FAX 〇七二(二二三)八一四〇

JFEスチール株式会社
代表取締役社長 北野嘉久
東京都千代田区内幸町二丁目一三
電話 〇三(三五九七)三一一一

中部製罐工業協同組合
理事長 安藤宏行
愛知県岡崎市宮地町字郷東三九
電話 〇五六四(五一)一五六一
FAX 〇五六四(五一)一五六三

水戸部製缶株式会社
代表取締役社長 水戸部伸寿
東京都千代田区神田和泉町
一丁目三二―一
電話 〇三(三八六六)一一六六
FAX 〇三(三八六六)二三八八

生野金属株式会社
代表取締役 小西康晴
大阪府高石市高砂三丁目二四
電話 〇七二(二六八)〇七七七
FAX 〇七二(二六八)〇七八二

株式会社ゼンユー
代表取締役社長 砂川秀樹
大阪府大阪市淀川区加島
四丁目一〇―四四
電話 〇六(六三〇九)四〇三一
FAX 〇六(六三〇一)二一〇〇

東洋鋼板株式会社
代表取締役社長 田辺敏幸
東京都品川区東五反田二丁目一八―一
大崎フォレストビルディング
電話 〇三(四五三二)六八六〇
FAX 〇三(三二八〇)八一六〇

全日本金属印刷工業協同組合連合会
会長 中田正和
東京都墨田区業平一丁目二六
本所ビル二階
電話 〇三(三六二六)二四一一
FAX 〇三(三六二六)二五〇二

江戸川製罐株式会社
代表取締役 岩田明義
東京都江戸川区平井五丁目四六―九
電話 〇三(三六一二)四一三一
FAX 〇三(三六一七)五〇三四

明和金属工業株式会社
代表取締役 渋谷剛志
大阪府高石市取石七丁目一六
電話 〇七二(二七四)一一〇一
FAX 〇七二(二七四)一六三五

光工業株式会社
代表取締役社長 吉田龍一
広島県東広島市志和町冠
一六五―二
電話 〇八二(四三三)五四〇一
FAX 〇八二(四三三)五四五三

日本製罐株式会社
代表取締役 松田豊彦
埼玉県さいたま市北区吉野町
二丁目二七五
電話 〇四八(六六五)一一二二三
FAX 〇四八(六六五)九〇三一

東京都鉄力地金商業協同組合
理事長 松苗昭文
東京都中央区日本橋大伝馬町一丁目七
電話 〇三(三六六三)八三五七
FAX 〇三(三六六三)八三五八

株式会社神宮製作所
代表取締役 神宮芳次郎
千葉県野田市上三ヶ尾二六一
電話 〇四(七二二五)一一二六一
FAX 〇四(七二二五)三三三七

工一入精器株式会社
代表取締役 有山健一
大阪府東大阪市西石切町
六丁目一四
電話 〇七二(九八二)二〇八一
FAX 〇七二(九八二)一〇六七

日西製罐株式会社
代表取締役 矢谷満里子
大阪府大東市御領三丁目一五―二〇
電話 〇七二(八七四)〇九七一
FAX 〇七二(八七五)四二五二

全日本一般缶工業団体連合会
会長 清水雄一郎
副会長 安藤 宏行
副会長 最上 裕光
東京都台東区浅草橋五丁目一五
ハシモトビル五〇二
電話 〇三(五八〇九)三三三六

最上CAN株式会社
代表取締役 最上 裕光
埼玉県草加市青柳八丁目一四―五
電話 〇四八(〇九六)一六九〇
FAX 〇四八(〇九六)一七四三

東邦金属工業株式会社
代表取締役社長 吉田亜津史
東京都江戸川区松島四丁目三七―六
電話 〇三(三六五四)八九一一
FAX 〇三(三六五五)七三四八

江戸川製罐工業株式会社
代表取締役社長 渡邊達也
大阪府大阪市鶴見区今津北
一丁目一三八
電話 〇六(六九六八)六七六一
FAX 〇六(六九六二)三二五八

三國金属工業株式会社
代表取締役社長 板垣 毅
大阪府豊中市豊南町西四丁目一〇
電話 〇六(六三三三)〇二五一
FAX 〇六(六三三四)〇二五五



高野興業株式会社
代表取締役 高野康弘
東京都墨田区本所一丁目三三
電話 〇三(三六二)二一六六
FAX 〇三(三六二)六二六四

株式会社MOBY
代表取締役 石原拓大
千葉県市川市塩浜一丁目四
電話 〇四七(三〇六)〇二一〇
FAX 〇四七(三〇六)〇二一九

株式会社江連金属印刷所
代表取締役 江連 一
千葉県松戸市上本郷八
電話 〇四七(三六二)〇一三五
FAX 〇四七(三六二)八七一五

是松鋼商株式会社
代表取締役社長 是松 一郎
大阪府東大阪市楠根二丁目六一三
電話 〇六(六七四)二二六六一
FAX 〇六(六七四)〇四〇〇

山雄製缶工業株式会社
代表取締役 山本浩之
大阪府大阪市北区大淀中
電話 〇六(六四五)五一四一
FAX 〇六(六四五)〇八二一

富安株式会社
代表取締役 川合正明
東京都墨田区太平四丁目一五
電話 〇三(五六二)七七七〇
FAX 〇三(五六二)七七六〇

大成フリキ印刷株式会社
代表取締役社長 中田正和
茨城県稲敷郡河内町長竿
電話 〇二九七(八六二)二〇〇一
FAX 〇二九七(八六二)四二二〇

新里機工株式会社
代表取締役 金澤幸一
埼玉県川口市東領家四丁目一
電話 〇四八(二九二)九〇九七
FAX 〇四八(二九二)九〇九八

三幸商事株式会社
代表取締役社長 武田有広
大阪府大阪市西区北堀江
電話 〇六(六五四)九三三一
FAX 〇六(六五四)三五八八

有限会社山野初製缶所
代表取締役 木下光美
大阪府八尾市太田七丁目一〇
電話 〇七(二九四)〇五五八
FAX 〇七(二九四)二八五五

中村商事株式会社
代表取締役 中村 定
東京都千代田区神田和泉町一七
電話 〇三(五六八)七五九一
FAX 〇三(五六八)六一五五

東都金属印刷株式会社
代表取締役 菅谷誠一
千葉県船橋市小野田町一五二一三
電話 〇四七(四五七)五四六一
FAX 〇四七(四五七)七三三一

株式会社N・P・W技研
代表取締役 山本亮太
三重県伊勢市佐八町八九四
電話 〇五九六(三九二)一三三三
FAX 〇五九六(三九二)一三六六

株式会社神光
代表取締役 小河朋久
大阪府吹田市南正雀一丁目一八
電話 〇六(六三八)四四六六
FAX 〇六(六三八)六〇一一

株式会社ライトハウス金属工場
代表取締役 岩橋 徹
大阪府大阪市鶴見区今津中
電話 〇六(六九六)〇四四一
FAX 〇六(六九六)二二九九

明邦鋼業株式会社
代表取締役社長 酒匂博之
埼玉県越谷市新川町一丁目四五
電話 〇四八(九八七)〇七〇一
FAX 〇四八(九八七)〇七三〇

富安金属印刷株式会社
代表取締役社長 菊井洋祐
埼玉県草加市苗塚町五七七
電話 〇四八(九二五)二五八一
FAX 〇四八(九二八)二六二〇

松本金属工業株式会社
代表取締役 松本勝俊
大阪府大阪市北区天満二丁目一八
電話 〇六(六三三)〇九四一
FAX 〇六(六三三)九四四九

西部容器株式会社
代表取締役社長 川島大吾
大阪府摂津市別府二丁目一八
電話 〇六(六三四)一六五一
FAX 〇六(六三四)七二二八

日東製罐株式会社
代表取締役社長 安藤宏行
愛知県岡崎市宮地町字郷東三九
電話 〇五六四(五一)五六一
FAX 〇五六四(五一)五六三

スチールリーフ株式会社
代表取締役社長 茂木孝之
東京都葛飾区亀有五丁目八一五
電話 〇三(三六二)八〇三〇
FAX 〇三(三六二)八〇六〇

二橋プリント株式会社
代表取締役 二橋英之
埼玉県三郷市彦川戸一丁目三八一六
電話 〇四八(九五三)二三六一
FAX 〇四八(九五三)五四二二

株式会社井上博商店
代表取締役社長 井上歩美
大阪府大阪市住吉区万代東
電話 〇六(六六九)一一二二五
FAX 〇六(六六九)一一二二七

株式会社愛罐コーポレーション
代表取締役 桑田敬士
東京都渋谷区本町二丁目三九一四
電話 〇三(五三〇)五五一五
FAX 〇三(五三〇)五五一六

**社会福祉法人
ライトハウス名古屋金属工場**
代表 近藤正臣
愛知県名古屋市中区十二丁目
電話 〇五二(三八二)一五五一
FAX 〇五二(三八二)四五三三

EIコーポ株式会社
代表取締役 菊井 治
埼玉県草加市苗塚町五七七
電話 〇四八(九二二)八三七三
FAX 〇四八(九二二)八三七五

**株式会社
城北鋳力印刷工業所**
代表取締役 竹腰忠臣
千葉県野田市木間ヶ瀬二五〇一一
電話 〇四(七一八)二六一一
FAX 〇四(七一八)二七七九

JFE商事ブリキセンター株式会社
代表取締役 谷口充浩
大阪府大東市新田旭町六一二
電話 〇七(二八七)〇九七三一
FAX 〇七(二八七)〇九七三〇

大貫金属工業株式会社
代表取締役 大貫雄一
東京都葛飾区東新小岩
電話 〇三(三六九)六一七九
FAX 〇三(三六九)六一七九

株式会社

セゾン保険サービス

代表取締役社長 富岡勝巳
 東京都豊島区東池袋四一―二―一
 アウルタワー4階
 電話 〇三三九八八―一五二六
 FAX 〇三三九八五―八二三七

千代田第一工業株式会社

代表取締役社長 鈴木信夫
 東京都狛江市岩戸北三一―一―九
 電話 〇三三四八八―四二二一
 FAX 〇三三四三〇―〇四三七

東日本一般缶工業協同組合
 CPSM会

令和5年11月1日筑波カントリークラブで第73回CPSM会を開催した。参加者は21人。
 上位入賞者は次の通り。
 優勝 中田 則彦氏
 (エヌエス金属工業)
 二位 二橋 英之氏
 (二橋ブリント)
 三位 菊井 洋祐氏
 (富安金属印刷)
 シニア枠
 優勝 中田 正和氏
 (大成ブリキ印刷)
 次回は令和6年春に開催予定。



西日本一般缶工業協同組合
 缶友会ゴルフ会

令和5年10月24日奈良国際ゴルフ倶楽部で晴天の下、第161回のゴルフ会を開催した。
 上位の入賞者は次の通り
 優勝 大久保 出氏
 (日東金属工業)
 二位 馬場 康之氏
 (ゼンユウ)
 三位 是松 一郎氏
 (是松鋼商)



令和5年8月から
 令和6年1月までの行事

東日本一般缶工業協同組合

- 令和5年 11/10 10/10 CPSM会会議
- 9/9 9/14 事務局長協会「研修会」
- 8/8 8/29 第3回理事会「ハイブリッド」
- 8/8 8/23 第3回理事会「ハイブリッド」
- 8/8 8/8 東京中央会
- 8/8 8/8 令和5年度上期情報連絡員報告会
- 8/8 8/8 第73回CPSM会
- 8/8 8/8 明治大学森下ゼミ「夏季納会」
- 8/8 8/8 第1回流通交流委員会
- 8/8 8/8 企画事業打ち合わせ(ZOOM)
- 8/8 8/8 中国フロンティア組合土協議会
- 8/8 8/8 通常総会(ZOOM)
- 8/8 8/8 全国組合土協議会
- 8/8 8/8 「第1回組合土協活性化研究会」
- 8/8 8/8 流通・交流委員会
- 8/8 8/8 「令和5年情報交換会・交流会」
- 8/8 8/8 第3回理事会「ハイブリッド」
- 8/8 8/8 東京中央会
- 8/8 8/8 令和5年度上期情報連絡員報告会
- 8/8 8/8 CPSM会会議
- 8/8 8/8 事務局長協会「研修会」
- 8/8 8/8 第73回CPSM会

事務局長協会「総務部会」(Zoom)

- 11/6 事務局長協会「総務部会」(Zoom)
- 11/7 東京中央会情報ネットワーク
- 11/7 現地支援事業「講習会」
- 11/8 東京中央会
- 11/8 「組合まつり in TOKYO」
- 11/8 全国組合土協連合会
- 11/8 「第2回組合土協活性化研究会」
- 11/8 東京都経営支援課
- 11/8 「令和5年度団体情報連絡会」(Zoom)
- 11/14 東京都火災共済協同組合
- 11/14 「代理所研修会」
- 11/14 事務局局長協会「職員交歓会」
- 11/14 全国組合土協連合会
- 11/14 「第4回正副会長会議」
- 11/14 「第4回理事会」
- 11/14 第4回理事会・忘年懇親会
- 11/14 明治大学森下ゼミ「冬季納会」
- 11/19 正副理事長会議
- 11/19 第5回理事会

西日本一般缶工業協同組合

- 令和5年 8/4 5 役員会
- 8/4 5 大阪府中央会大会
- 8/4 5 4S会会議
- 8/4 5 缶友会ゴルフ
- 8/4 5 合同部会
- 8/4 5 役員会
- 令和6年 1/9 組合新春懇親会
- 1/24 合同部会・技術交流会会議

全日本一般缶工業団体連合会

- 令和5年 9/1 第2回全日本一般缶PR活動推進協議会(ZOOM)
- 9/4 エコプロ2023
- 9/6 「出展アセスWG会議」
- 9/6 経済産業省金属課
- 9/6 「令和5年度一般缶業況ヒアリング」(Teams)
- 10/17 スチール缶リサイクル協会
- 10/17 「記者説明会」
- 10/17 エコプロ2023
- 10/17 「出展アセスWG会議」
- 10/17 正副会長会議(ZOOM)
- 10/17 スチール缶連絡協議会
- 10/17 エコプロ2023
- 10/17 「出展アセスWG会議」
- 10/17 第3回全日本一般缶PR活動推進協議会(ZOOM)
- 10/17 大手3鉄鋼メーカーとの価格転嫁実態調査報告会

令和6年
 ドラム缶工業会「新年会」

- 1/17 全国十八リットル缶工業組合連合会「新年会」
- 1/19 第2回理事会(役員会)
- 1/19 第4回全日本一般缶PR活動推進協議会
- 1/19 令和6年新年会
- 1/19 スチール缶連絡協議会

令和6年2月からの行事予定

- 令和6年 2/6 全国組合土協連合会
- 2/6 「第1回組合土協活性化研究会WG」
- 2/9 第43回優良従業員表彰式
- 2/9 生産性向上支援訓練
- 2/9 Webセミナー(ZOOM)
- 2/29 全国組合土協連合会
- 2/29 「第3回組合土協活性化研究会」
- 2/29 事務局局長協会「理事会」
- 2/29 第6回理事会
- 2/29 第74回CPSM会
- 2/29 未定 監事会
- 2/29 第1回理事会「ハイブリッド」
- 2/29 第46回通常総会
- 2/29 第3回理事会

西日本一般缶工業協同組合

- 令和6年 3/5 役員会
- 3/10 4S会ゴルフ
- 3/17 缶友会ゴルフ
- 3/26 役員会

全日本一般缶工業団体連合会

- 5/22 第56期定時総会
- 5/22 合同部会
- 5/22 役員会
- 令和6年 3/3 第3回理事会(役員会)
- 3/3 第5回全日本一般缶PR活動推進協議会
- 3/3 未定 会計監査
- 5/5 第1回理事会(役員会)
- 5/5 第45回定時総会
- 5/5 第1回全日本一般缶PR活動推進協議会
- 5/5 第47回全国流通委員会・部会協議会
- 7/5 一般缶イノベーションフォーラム2024

組合伝言板

- 《代表者交代》
- (株)日本組合員 代表取締役社長 丸山 雄宏氏
- (株)鳥居製缶 代表取締役社長 丸山 雄宏氏
- 杉浦製罐(株) 代表取締役 神子島 岩男氏
- (株)N.P.W技研 代表取締役社長 山本 亮太氏
- (株)MOBY 代表取締役社長 石原 拓大氏
- 令和5年11月
- 令和5年12月
- 令和5年11月
- 令和5年9月
- 令和5年11月

令和5年6月～11月までの一般缶生産出荷実績 (単位:t)

年月	生産	出荷		在庫
		販売	その他	
5.6	4,746 (4,213)	4,414 (4,153)	21 (21)	11,468 (10,535)
7	3,994 (4,934)	4,011 (4,787)	3 (1)	11,440 (10,687)
8	3,683 (3,993)	3,413 (3,901)	20 (24)	11,689 (10,763)
9	4,156 (4,561)	3,936 (4,348)	21 (21)	11,884 (10,968)
10	4,505 (5,479)	4,321 (5,049)	22 (2)	12,047 (11,414)
11	5,369 (5,673)	4,993 (5,947)	2 (2)	12,417 (11,149)

年月	生産	出荷		在庫
		販売	その他	
5.6	3,419 (3,025)	3,338 (3,004)		7,409 (7,234)
7	3,149 (3,176)	3,061 (3,123)		7,604 (7,333)
8	2,977 (2,993)	2,764 (2,880)		7,583 (7,394)
9	3,225 (3,246)	2,943 (3,051)		7,956 (7,525)
10	3,589 (3,414)	3,467 (3,367)		8,081 (7,499)
11	3,615 (3,727)	3,605 (3,910)		7,934 (7,529)

()内は前年同月実績
 経済産業省データは生産動態統計鉄鋼月報より転載